

# スマイルゆい、便り

居宅介護支援事業所スマイルゆい

大分市敷戸台2-2-24 TEL 504-7858 VOL. 10

## 防災の日

すこし前になりますが、9月1日は『防災の日』でした。

『防災の日』は、1923年（今から87年前）におきた、関東大震災の教訓を忘れないようにと制定されました。



いつも、日常生活に追われ、【有事】ときのことは忘れがちになってしまいがちなので、9月は防災について考えてみる良い機会ではないでしょうか？

テレビなどでも報道されていましたが、30年以内に巨大地震の発生する確率は、南海地震50%（首都圏や東北地方はもっと確率が高い）となっています。

この確率を、高いと見るか、低いと見るかは、さまざまですが、【備えあれば憂いなし】。ご自宅の防災グッズを再点検してみませんか？

防災グッズについては、いくつかのインターネットの情報を見て、確認してみました（一例）。このほかにも多数ありましたが、全部上げると簡単に持って出られない位の量になりました！ですので、必要そうなものを一例として書き出してみました。今回改めて確認してみると…防災グッズも取捨選択がみつようなぁ～と感じました。

災害時は  
火を消しま  
しょう！



### 防災グッズ リスト(一例)

ラジオ ライト・懐中電灯 ブルー（レジャー）シート  
水・食料品 救急セット 常備薬  
軍手 靴 ナイフ 生理用品 オムツなど  
衣類 レインコート 日用品（歯ブラシ、石鹸など）  
ビニール袋 ティッシュ ウエットティッシュ  
ホイッスル ロープ 現金 重要書類 携帯充電器

## 高齢期をわくわくして迎えたい・・・

～元気な暮らしをしている札幌、日暮里の報告～

管理者 古村久美子

私、古村は任意の団体『明るいシニアライフをつくる会「結」』で共生の住まいについて考えております。度々、お知らせしている『共生の住まい』での学習について、またお話をさせてください。先般7月に、続けて2箇所見学に行つて参りました。

**シーズネット**（7月14日札幌で、シーズネット代表の岩見様にお話を伺いました。）

シーズネットは10年前に、代表の岩見さんが、社協職員として地域を回つた時に「身体的には健康なのに、心の中に寂しさや孤独感、不安感を抱きながら、長いシニア人生を暮らしておられる方が多い」ことが気になり、当事者の視点で新たなシニア人生のグランドデザインを描くことを目的として立ち上げたものです。

それから10年。札幌の他に道内に支部ができ、京都・四日市市・鶴岡市にも設立され、自立したシニア層の団体として認知されつつあります。人と人が結びつくためのさまざまなサークル活動、勉強会や市民向けの講演会などが企画され実行されています。

近年では事業的な活動も活発で、シニアの住まい関係の相談・情報提供・民間シニア向けの奨励制度の実践研究、一人暮らしの高齢者を対象にしたコミュニケーションと安否確認の活動は注目を集めています。

**かんかん森**（7月17、19日）

かんかん森は今年6月に7周年を迎え、記念のイベントがあり参加しました。コレクティブハウスなるものと、かんかん森の暮らしぶりについてお聞きしました。

コレクティブハウジング社というのは、新しい住まい方＝暮らし方を考えるNPO法人で、住宅の斡旋はせず、住まい手と造り手のコーディネートをします。家族形態は多様化しているのに今の住宅は対応しているかと問題提起をされていました。数百人の住まい手（誰もが生活上の問題を抱えながら生きている）が登録し、土地活用（返済・管理等のリスクを抱えながら）を考えている事業主との仲介をするのです。居住する前から、意見を出し合い設計にも携わつて建築されており、賃貸でそれぞれの固有の部屋で素適に住んでいます。

コモンミールと呼ばれる、一緒の食事。

当番で調理しますが、男も女も助かっているようです。楽チンです。共有スペースは広く、家庭菜園、工作室、家事室等もあり、一人で住むよりは、同じ家賃で、いっぱいスペースを所有することができます。ルールは定例会で決め、合わないところは修正していきます。目標はエコロジカルな暮らしだそうです。19日は念願の上野千鶴子先生の講演を聞くことができました。

